

**2019 年度 名古屋大学大学院
多元数理科学研究科博士後期課程
入学試験（夏期募集）について**

1. 入学試験は筆記試験と口述試験からなります。筆記試験は1日目に行われ、試験時間は3時間です。

2. 筆記試験では、数学の基礎能力を見ます。大学の2年次程度までに学ぶ数学を中心として、更に学部レベルの数学、各専門分野における基本事項から出題します。基礎的な概念や定理、よく出てくる例や議論の理解を問います。

2年次程度までの内容については、問題集

<http://www.math.nagoya-u.ac.jp/ja/admission/gs/problems.html>

がありますので、準備に役立ててください。ただし、問題集が出題範囲をすべてカバーしているわけではありません。

3. 口述試験では、提出された研究計画書（その背景にある数学の内容）と、1日目の筆記試験の問題を題材として、簡単な質問をいくつかします。そのやりとりを通じて、数学の基礎能力やコミュニケーション能力を見ます。研究計画書の内容についてはその要点が簡潔に説明できるよう事前に十分に準備し、筆記試験については試験終了後に考えたことを整理して、口述試験にのぞんでください。

4. 過去の筆記試験の問題が

<http://www.math.nagoya-u.ac.jp/ja/admission/gs/exam.html>

からダウンロードできます。